

分野横断型の研究拠点の創出

三重大学

リサーチセンター

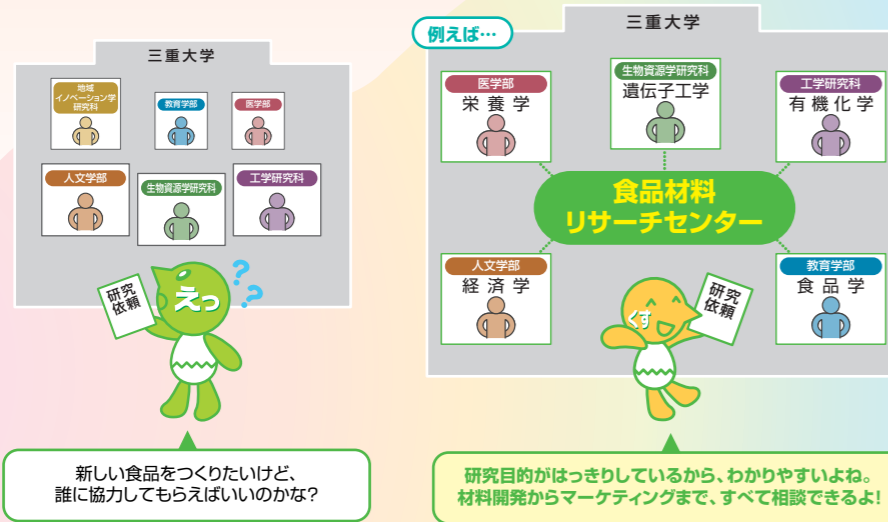
近年、科学技術の発展はめざましいものがあり、新しい技術を創生するためには、異分野の先端技術を複合的に組み合わせながら、新たな理論的、実践的な技術体系を構築することが不可欠となっています。

三重大学では、研究の最終ターゲットを共有する様々な分野の研究者が横断的に研究グループを作り、新たな視点を持った研究や新技術の創生を目指す事を目的とした"三重大学リサーチセンター"を設置しました。このリサーチセンターが、研究をさらに活性化させ、先端研究の拠点となり、地域イノベーションの推進に繋がるとを期待しています。

mission

- 独創的な研究の創出
- 先端研究の拠点化
- 新産業創出の技術支援
- 地域イノベーションの推進

● 異分野の研究者が共通ターゲットをねらう理由



異なった分野の研究者がそれぞれアプローチを行うことで、具体的な研究のニーズに答えることが出来ます。



ワイヤーハーネス

三重大学 コネクタ工学 研究センター

(センター長:工学研究科・教授 飯田和生)
【コネクタ研究の世界的拠点を目指して】
自動車の電子化、ハイブリッド化が急速に進む中、より高い信頼性が求められるワイヤーハーネスのコネクタ部分の様々な問題点を研究し、より信頼性の高いコネクタの研究開発を行います。

三重大学 次世代型電池 開発センター

(センター長:工学研究科・教授 武田保雄)
【次世代を見据えた新しい電池開発】
電気自動車に用いる「大きなエネルギー密度」と「高い安全性」を持った電池や、「小型軽量」で「薄くて曲がる」電池など、多様化する次世代電池の研究開発・実用化を、国や県、他大学や研究機関、民間企業などと連携し、様々な面から研究開発を行います。



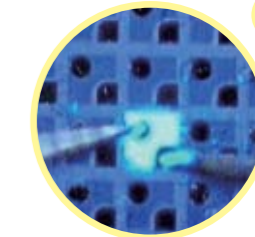
リチウム電池



ヒトゲノム

三重大学 疾患ゲノム研究 センター

(センター長:生命科学支援センター・教授 山田芳司)
【ゲノム医学に関する世界のトップレベルの研究】
個人個人における遺伝的相違を検出することが可能となった今、これらの遺伝情報からそれぞれの生活習慣病の発症に関連する遺伝子を特定し、個人に最適な予防法や治療法を選択するオーダーメイド医療について研究します。



青色発光ダイオード

三重大学 極限ナノ エレクトロニクスセンター

(センター長:工学研究科・教授 平松和政)
【常識をくつがえす新規のナノエレクトロニクスデバイスの開発】
ナノ物質の創製と加工、ナノシミュレーションと物質設計など独自の研究を展開しながら、グループ横断的な研究プロジェクトを通じて、従来の常識をくつがえす新規ナノエレクトロニクスデバイス創製を行うとともに、ナノエレクトロニクス分野の優秀な人材の育成並びに新産業の創出を目指します。

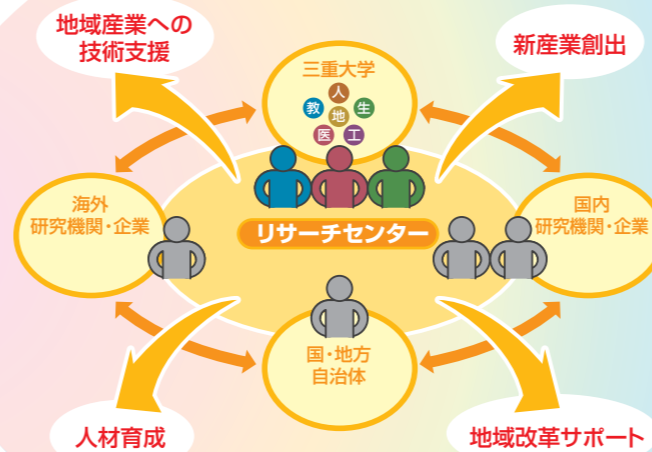


CIO (最高情報責任者) 育成講座

三重大学 地域情報化 リサーチセンター

(センター長:教育学部・教授 松岡守)
【地域住民が真に望む地域情報化の研究推進】
三重大学の文理両面の研究開発能力を活かし、地方公共団体、NPO、企業と協力しつつ、地域住民が真に望む地域情報化の研究開発を推進します。

● 国、地域、企業と大学が コラボレーションする先端研究の拠点



組織や研究分野の枠にとらわれない研究グループが、これまでにない研究成果や新技術を生み出し、新産業創出など地域に貢献します。

平成21年3月現在、設置されているリサーチセンターです。新しく設置されるリサーチセンターは、随時ホームページで公開します。

● リサーチセンターURL ● <http://www.mie-u.ac.jp/research/>

